

主要事業

I 次代へつなぐ新たなまち。

海老名駅西口地区土地
区画整理事業の本格着手

13億4043万4000円
市街地整備課

海老名市の長年の夢実現

海老名駅西口土地区画整理組合が、14・1ヘクタールの事業区域で土地区画整理事業に着手。基盤整備などを組合と市が協働で進めることで、海老名駅の東西地区を一体とした中心市街地の実現を図り、県央の拠点市街地形成を目指します。

海老名駅自由通路
(駅間部・西口部)の整備

9億9224万2000円
駅周辺対策課

海老名駅東西一体のまちづくり

駅間自由通路の拡幅整備に加え、西口地区で進む土地区画整理事業地内への延伸整備も併せて行うことで、安全で快適な歩行空間の確保を図ります。

海老名駅西口地区
関連道路の整備

5億5955万6000円
道路整備課

新たなまちの交通円滑化に向けて

(仮称)上郷河原口線、市道307号線、市道307号線バイパス、市道61号線の整備を推進します。

さがみ縦貫道路海老名IC
関連道路整備の推進

6億5339万6000円
道路整備課

道路網整備による住環境の改善

さがみ縦貫道路海老名インターチェンジから発生する交通量に対処

するため、新たな交通網を整備し、交通の分散化と住環境の改善を図ります。25年度は、海老名ジャンクション付近の市道整備や市道53号線バイパスの整備を推進します。

歩行者の安全確保のための
歩道整備の推進

2億7599万円
道路整備課

安全・快適な道路空間の確保

歩車道の分離を図り、歩行者の安全と快適な道路空間を確保します。また、歩道のバリアフリー化により、交通弱者が安心して通行できる道路整備を推進します。

中央地区歩車共存道路の
整備推進

3200万円
道路整備課

海老名駅周辺地区の利便性向上に向けて

23～24年度に実施した、市中心市街地を横断する38号水路のボックス化に伴い、その上部の道路整備工事を行うことで、海老名駅周辺の利便性向上を図ります。

II 未来を支える こどもを育むまち

きれいで居心地のよい
学校づくりの推進

1億600万6000円
教育総務課

児童・生徒が快適に学校生活を送るために

学校の生活環境を家庭環境に近づけるため、全小中学校のトイレに洗浄便座などを設置し、試行的に各学校に電気掃除機を配備します。

いじめのない
学校づくりの推進

1億644万5000円
学校教育課

児童・生徒が笑顔で学校生活を送るために
指導体制強化のため、青少年相

コンピューター利用教育の
推進

1億546万5000円
教育指導課

電子黒板、プロジェクターなどの充実

児童・生徒が積極的にコンピューターなどの情報手段を活用できるように、ICT(※)環境の整備や充実を図ります。25年度は、電子黒板機能内蔵プロジェクターや書画カメラ、学習指導用パソコンなどの充実を図ります。

少人数指導の充実

1億656万円
学校教育課

きめ細かい指導体制を確保

35人学級の実施と少人数指導体制の充実を図り、きめ細かい指導を行います。35人学級の推進に伴い教員が不足するため、市費による非常勤講師を配置することで、指導体制を確保します。

特別支援教育の充実

7636万2000円
教育指導課

補助指導員などの市費による配置

特別に教育的支援が必要な児童・生徒に対し、補助指導員・介助員・日本語指導講師などを配置することで、学校での学習や生活への適応を図ります。25年度は介助員を増員します。

えびなっ子サマースクール
事業の実施

816万7000円
教育指導課

夏季休業中の児童の居場所づくり

夏季休業期間中に学校施設を開放し、学習や遊び、芸術体験の場を提供します。25年度は各校でプログラムを自主的に編成し、内容の充実に取り組みます。

私立幼稚園における
給食の提供

701万1000円
子育て支援課

幼児期からの食育の推進
食育と小学校入学前の学校給食

子ども医療費助成事業の
継続

5億5654万5000円
子育て支援課

中学校3年生までの医療費助成

所得制限を設けず、入院・通院費用の助成を25年度も継続します。

安全安心子ども
パトロール事業の開始

460万2000円
子育て支援課

安全で安心な子育て環境の向上

市内認可保育園および私立幼稚園の巡回監視や、園児に対する防犯・防災訓練指導を行います。非常勤嘱託員(警察官OBなど)が常時2人体制で巡回監視を実施し、防犯、交通安全に関する講話や、安全管理のための防犯・防災訓練指導を行います。

※1 ICT…情報・通信に関連する技術関連の総称

